

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

### ＜本年度の学力向上基本方針＞

～大きな夢 力いっぱい～「夢と希望をもち 豊かな心でたくましく生きる子の育成」  
かしこく(じっくり考え) ゆたかに(思いやりをもって) たくましく(ねばり強い子)

○基礎学力の定着と授業力の向上

○学校課題研究における研究成果の蓄積と指導改善

研究課題「算数科における学ぶ喜びを味わわせる学習指導の工夫」

### ＜本年度の学力向上策＞

- 1 校内の人材を生かした指導体制の構築
  - ・少人数指導教員、スクールアシスタントの活用
  - ・個々の課題や実態に応じた指導体制の検討の時間の確保
  - ・学年組織を生かした教材研究及び高学年の学年内T T(ティームティーチング)の実施
- 2 基礎学力の定着と授業力の向上
  - ・小・中学校の接続を踏まえた学習規律の重点項目の設定
  - ・朝休みを活用した基礎学力の定着 ・発達段階に応じた家庭学習の啓発
  - ・「よい授業」集計システムの活用と指導方法の工夫・改善
- 3 学校課題研究の推進
  - ・視点を明確にした研究授業の設定
  - ・「伝え合い」、「自力解決」など重点指導事項の共有
  - ・研究組織を生かした学習状況調査の分析と、PDCAサイクルの具現化

### ＜本年度の振り返り＞

- 1 ○ 少人数担当、専科担当の情報交換の時間を確保し、指導及び評価方法の共通理解を図ることができた。
- 2 ○ 宮原中学校との生徒指導における重点項目の共通理解を図り、「チャイム着席」「大きな返事」などに取り組むことができた。  
○ 学校課題研究とも関連し、「親子算数タイム」「わくわく算数通信の発行」などに取り組むことで、家庭学習の啓発を図ることができた。  
▲ 学習状況調査結果の前年度平均からの伸びが低下した部分の指導法を見直し、次年度に生かしていく。
- 3 ○ 年間7本の校内授業研究会を実施し、研究協議会では競技の視点を明確にし、教員同士の学び合いを充実させることができた。よい授業アンケートの結果では、学校平均のうち因子①③④において向上が見られた。  
○ 学習状況調査の過去3年間における学力・学習状況の推移を分析し、各学年の児童の実態や傾向等を明らかにすることができた。